

あなたと市議会



せんしょく
「染色」

みやもと 宮本 ゆりこ 友理子さん
横手高等学校2年

主な内容

定例会ピックアップ	2
8年度予算審査報告	4
委員会審査報告	6
予算決算委員会総括質疑	7
会派代表質問・一般質問	8
ぎかいトピックス	15

作品のこだわりポイント！

わざわざ周りに合わせて型にはまった振る舞いをする必要はない。自分のしたいことを見つけ、信じて、進みたい。世間の色に染まらず、自分なりの、自分らしい色に染まりたいという思いを込めました。

市営温泉3施設の 条例改正案を可決

令和8年3月定例会は、人口減少や財政状況を踏まえ、市の将来に向けた重要な議論の場となりました。

一般会計当初予算案は前年度比1・9%減の576億7100万円で編成され、事業の「選択と集約」が求められました。審議では「シン・十文字拠点基本構想」の財源やインフラ面での懸念、豪雪に対応する除排雪支援の充実のほか、公共温泉施設の料金改定や運営の継続、廃止等について、公平性を踏まえた負担のあり方に関する議論が行われました。

また、クマ問題やSNS型詐欺等の現代的課題への対応も焦点となりました。

今後市民の皆様の声を大切にしながら、予算の適切な執行をチェックし、市民生活の向上に取り組んでまいります。

議案第10号 横手市平鹿ときめき交流センター「ゆっぷる」設置条例の一部を改正する条例
議案第11号 横手市大雄ふるさとセンター設置条例の一部を改正する条例
議案第15号 横手市大森林業者等休養福祉施設設置条例等の一部を改正する等の条例

議案第10号はゆっぷる、議案第15号はさくら荘の両公共温泉施設について、それぞれ指定管理者制度導入と、料金改定を可能とするための条例改正案でした。

また、議案第11号はゆとりおん大雄の料金を改定するための条例改正案でした。

本会議では、反対・賛成討論がそれぞれ2名の議員により行われ、起立採決の結果、いずれも起立多数により可決されました。

討論

反対

議案第10号及び第15号について、佐藤誠洋議員より「経営改善は必要だが、指定管理者選定手続きの透明化が必要」、宮川拓也議員より「財政負担軽減の根拠がなく、効果も限定的で制度導入による利点がない」との反対討論がありました。

討論

賛成

議案第10号及び第11号、第15号について、加藤雄太議員より「本条例は3施設の継続につながるもので、経営の質改善とコスト削減が進む」、議案第10号及び第15号について築山智議員より「昨今の運営費等の高騰もあり、制度導入によるコスト削減効果がある」との賛成討論がありました。



ゆっぷる



さくら荘



ゆとりおん大雄

「ゆっぷる・さくら荘・ゆとりおん大雄の市営温泉施設の条例改正案可決が意味することは？」



市営温泉施設の運営に関する条例については、継続か廃止かという点で、利用者の健康増進のためこれからも必要という声もあれば、令和6年度の3施設の合計赤字額が約1億9千万円であり、赤字額の削減が必要という声など様々な意見があります。

当局の考えは、利用料の改定による赤字額の削減に加え、指定管理者制度を取り入れることで、ゆっぷるとさくら荘については、これまでの運営だけでは難しかった課題に対し、民間の知恵や工夫を活かしながら、よりよい形で施設を運営していこうとするものです。

今定例会での議案可決により、市営温泉施設の運営は次の段階に進むこととなります。議会として、引き続き市民のための施策となるよう議論を進めていきます。

解説

〜本庁舎改修工事〜
平成元年に建設された本庁舎は、設備等の老朽化が進んでおり、施設の長寿命化のための大規模改修工事が予定されています。



建設から37年が経過した本庁舎

討論

反対

立身万千子議員より「大型施設整備に係る予算が計上されている一方、地域の予算が削減されている」、寿松木孝議員より「本庁舎改修やシン・十文字拠点エリア整備など、今後巨額の費用が必要となる事業に関連する予算が計上されているが、説明が不十分のままでは議会のチェック機能が果たせない」との反対討論がありました。

議案第44号 令和8年度横手市一般会計予算

議案第44号について、本会議では2名の議員から反対討論が行われ、起立採決の結果、起立多数により可決されました。

賛否が分かれた議案と審議結果

・採決で賛否が分かれた案件を掲載しています。他は全会一致で可決されました。
○：賛成 ●：反対 ※ 菅原正志議長は採決に加わりません。

案件名	議案第10号 横手市平鹿ときめき交流センター「ゆっぴる」設置条例の一部を改正する条例	議案第11号 横手市大雄ふるさとセンター設置条例の一部を改正する条例	議案第15号 横手市大森林業者等休養福祉施設設置条例等の一部を改正する等の条例	議案第18号 横手市立体育館設置条例の一部を改正する条例	議案第25号 工事請負契約の変更について(横手体育館建設工事)	議案第34号 令和7年度横手市一般会計補正予算(第13号)	議案第44号 令和8年度横手市一般会計予算	議案第45号 令和8年度横手市国民健康保険特別会計予算	議案第46号 令和8年度横手市後期高齢者医療特別会計予算	陳情8第1号 「最低賃金の改正と中小企業・小規模事業所支援の拡充を国に求める意見書」の採択を求める陳情書	議決結果	
											原案可決	原案可決
会派・議員名	賛成	15	12	15	19	19	20	17	20	15	1	賛成
	反対	6	9	6	2	2	1	4	1	6	20	反対
市民の会	石岡恵美子	●	●	●	○	○	○	●	○	●	●	●
	江上 善一	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
	菅原 正志	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※
	大日向香輝	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
	菅原 恵悦	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
さきがけ	佐藤 誠洋	●	●	●	○	●	○	○	○	●	●	●
	築山 智	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	●
	青山 豊	○	●	○	●	○	○	○	○	○	○	●
	石川 拓也	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	●
新政会	寿松木 孝	○	●	○	●	○	○	○	○	○	○	●
	加藤 司	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
	土谷 久男	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
	小野 正伸	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
	加藤 雄太	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
創成の会	柴田 忍	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
	加藤 勝義	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
	本間 利博	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
公明党	宮川 拓也	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	●
	土田百合子	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
日本共産党	井上 忠征	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
	立身万千子	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○
青風会	高橋 聖悟	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○

1月臨時会の概要

1月14日に開催された1月臨時会において、物価高騰に対する支援事業として、プレミアム付商品券事業のほか、障害者支援施設、介護保険施設、保育施設等への物価高騰対策事業、また低所得者を対象としたあったか灯油助成事業等に関する補正予算案を審議し、採決の結果、起立全員により可決されました。

2月臨時会の概要

2月2日に開催された2月臨時会において、新横手市立体育館の指定管理者の指定について及び、除雪費の補正予算7億円等について審議し、採決の結果、いずれも起立全員により可決されました。

不採択 陳情の審査結果

◆陳情8第1号 『「最低賃金」の改正と中小企業・小規模事業所支援の拡充を国に求める意見書』の採択を求める陳情書
(秋田県労働組合総連合 議長 高野 智子氏 他1名)



令和8年3月定例会の議案などはこちらからご覧ください。

厚生分科会

保険料率改定にあたり情報共有に疑問の声

◆横手市後期高齢者医療特別会計予算



秋田県後期高齢者医療広域連合と各市町村との間で連携は取れているか

問 広域連合議会において、4月から保険料が大幅に上がる保険料率改定案が可決された。事前に市町村が情報を得られるような仕組みが必要とを感じるがどうか。

答 保険料率改定の内容については、今年1月末に開催された広域連合運営検討委員会で初めて市町村に示された。議会当日まで財政調整基金を償還金に充当するといった情報は一切なく、他市町村も同様であったと思われる。今後は運営検討委員会の開催時期や、市町村と広域連合の課題共有について改善されていくものと期待している。

討論

反対

子ども・子育て支援金制度で新たな保険料の上乗せが必要とのことだが、公的医療保険の目的からは大きく逸脱している。国庫負担で対応すべきであり、今後ますます目的外負担が横行することを憂慮する。

可

起立採決の結果、可否同数となり、分科会長裁決により原案のとおり可決すべきものとして決定しました。

◆横手市一般会計予算



重層的支援体制整備事業の現状と今後の展開は

問 経済的に困窮していても、各分野の相談窓口までつながらない方に対し、手を差し伸べるところまで機能してほしいと考えるがどうか。

答 令和7年4月からアウトリーチの事業も実施しており、数件の対応実績がある。ケアマネジャーや民生委員など地域の方からの情報があれば、本人からのSOSがなくてもこちらから出向していく。

討論

賛成

課題が山積な分野だが、市民の声を丁寧に聞きながら部局横断・連携で解決に努め、適切な事業執行を期待する。

可

起立採決の結果、起立全員により可決すべきものとして決定しました。

厚生分科会委員

加藤 雄太
立身 万千子
菅原 恵悦
青山 豊
宮川 拓也
井上 忠征
石岡 恵美子

産業建設分科会

果樹支援の見直しと放任園対策

◆横手市一般会計予算



果樹の病害虫等への対策と大雄堆肥センターにおける悪臭対策は

問 果樹等自然災害復旧対策事業において、薬剤助成の補助率を下げているが、どのような分析をしたのか。

答 本事業は、雪害や暴風被害に対する一律的な助成としているが、果樹の生産量が戻ってきたことや単価の増もあり、災害復興からりんご腐らん病や猛暑などピンポイントの対策に加え、生産振興にシフトすべきと判断した。

問 果樹の共同防除組合に入っていない個人の放任園への対応はどのように検討したのか。

答 現地視察を行った際、共同防除組合の関係者から、自分たちで対応したいとの話があったことから、共同防除組合が隣接する個人の放任園へ対応する場合も補助対象とした。



幹に発病したりんご腐らん病

問 大雄堆肥センターについて、今回の改修工事はどのようなものか。

答 悪臭対策として、消臭剤を散布し臭いを抑えるものである。また今後については移設も選択肢の一つとして検討を続けていきたい。



市のPRにつながる
熱気球の買い替えを

問 秋田スカイフェスタ等で使用している熱気球の買い替えは、かごやバーナーを含めて新しくするのか。またデザインはどのようにするのか。

答 かごやバーナーは現在のものを使用し、上部の球皮を買い替える。デザインについては、横手市と分かるもので広くPRにつながるよう検討していきたい。



道路維持補修等に係る
予算確保は十分か

問 道路に関して、修繕が必要な箇所が多数あると思う。前年度と比べて予算が減少している要因は何か。

答 事業計画としては予定どおりである。また、流雪溝などのポンプ更新等に関する予算については、要望が多くあったことから増額となっている。

総務文教分科会

持続可能な地域づくりの推進を

◆横手市一般会計予算



若年世帯住まい
応援事業の狙いと展望は

問 この事業では、夫婦が家を新築する際に一部助成しているが、29歳以下とした理由は何か。

答 若年世帯の定住に加え、少子化対策、晩婚化対策という視点も狙いの一つとしている。20代で家を建て、市に定住し、そこから出産子育て、多子世帯へと形につなげていただきたいとの思いで29歳以下とした。

問 費用助成の割合はどのようなものか。

答 対象要件は、令和8年4月1日以降の契約で、新築は補助率20%、最大300万円、中古住宅購入と増築・リフォームは補助率10%、最大100万円と想定している。



安心して定住できる取組を



心を豊かにする生涯学習の推進を

問 各地区の生涯学習講座について、市の関わり方が弱く、参加者が増えていない印象だ

がどうか。

答 令和8年度は、新たな生涯学習推進計画を策定する予定であるが、現計画策定時と変わった点として、公民館を地区交流センター化したこと、コミュニティ・スクールを全小中学校に導入したことが挙げられ、講座形式で生涯学習推進を図るだけでなく、多彩な体験活動や地域に関わる活動を通し、高齢者を含め様々な市民が参加できるような形態を考えていきたい。



新横手市民会館整備に係る予算計上は

問 実質収支の10%を積み立てるとしているが、条例提案の際には、具体的に2億円を10年間積み立てたいとの話だった。そうであれば、2億円を予算として置くべきではないか。

答 当初から2億円を計上するべきということとは一つの考えであると思うが、実際に9月議会で決算を迎えたうえで、その金額も加味し、積み増しできるようであればさらに積立したいと考えており、そのような形で運用したいと考えている。



新市民会館のイメージ図

産業建設分科会委員

輝司 孝義 一伸 智
向木 勝善 正
香松 勝善 正
大加藤 江上 小野 築山

総務文教分科会委員

百合子 拓也 洋誠 悟忍 久男 利博
石川 佐藤 高橋 柴田 土谷 本間

人件費と定員
管理は

佐藤 誠洋 委員



問 経常収支の悪化要因である人件費の「量」を見直すべき。令和8年度予算の人件費をどのように考え提案したのか。

答 令和6年4月1日現在の全国類似団体の人口一万人当たりの職員数は平均が普通会計で87・1人。横手市は20・2人超過する107・3人。単純比較で人件費や職員数を判断はできない。

問 技術職員（土木、建築等）の確保について、奨学金返還への補助や初任給への加算制度の創設など、工夫を凝らして確保すべきではないか。

答 技術職員の確保は重要課題であり、提案を参考に努力したい。

賃上げのための
事業所支援は

青山 豊 委員



問 持続的な賃上げのためには、自治体による事業所支援が必要だ。令和8年度予算における取組は。

答 5款労働費において、人材確保に向けた支援や働きやすい職場環境づくりの促進等に取り組み。7款商工費では、中小企業・小規模事業者の設備投資やデジタル化経営改善等への支援を通じて、生産性向上と付加価値額の創出を図っていく。

問 包括的かつダイレクトな賃上げ支援を行うべきではないか。

答 ある程度の福祉的要素を念頭にアプローチする。

● その他の質問
● 上下水道事業について

金利上昇期の
財政運営を問う

石岡 恵美子 委員



問 8年度の利子支払額が前年度比約1.8倍に急増した。金利上昇の対策は。

答 元金支払の据置期間の廃止や民間資金の見積り合わせにより、利子負担を抑制中だ。今後も健全な財政運営に努める。

問 基金残高の目標を8年度から10%に下げた。この基金残高で災害時等に市民の命が守れるのか。

答 交付税減額を見据えた計画的活用の結果である。類似団体と同水準であり目標を維持し、不測の事態に備える。

問 シン・十文字拠点整備等の大型事業の予算は財政計画に含まれているか。

答 10年間の財政計画に算入済みである。

書かない窓口
導入を問う

宮川 拓也 委員



問 「書かない窓口」の導入予算が他自治体と比較して高いのはなぜか。

答 各自治体のDXの目指すものが違うため、費用も違うと認識している。

問 導入するに当たってプロポーザルが行われるとのことだが詳細を伺う。

答 デジタル庁の認定を受けた7事業者を対象とした公募型のプロポーザルを実施中で、4月の契約締結を予定している。

問 他自治体では人口減少等も見据え、機能と費用のバランスを考えてシステム導入しているようだが、本市ではどうか。

答 将来に向けた無駄のない段階的な投資であると考えている。

クマ対策事業の
執行体制は

本間 利博 委員



問 有害鳥獣対策事業費は増額されたが、主要内容と執行体制は十分に確保されているか伺う。

答 電気柵の設置補助は現状維持だが、クマ誘引樹木の伐採支援は補助率を引き上げるなど、拡充して令和8年度から3年間を重点期間として推進する。また、クマ捕獲用の箱罠を新たに16基購入するとともに、新たに実施隊員になる方の狩猟免許取得や猟銃購入費用を支援する。これらの事業は、各地域で猟友会の協力を得ながら実施していく。

特に市街地への出没など人身被害が懸念される場合には、警察等とも連携して対応する。

ココが 議員が市政を問う 聞きたい!



2月27日に会派代表質問及び一般質問が、3月2日～3日に一般質問が行われ、2つの会派と10名の議員が市長施政方針や教育行政方針、そのほか市民の皆さんの生活に係る行政全般について質問をしました。

会派代表質問・一般質問の様子は、インターネットでライブ中継しています。また、一部を横手かまくらFMで生放送するほか、市議会ホームページで全ての一般質問を録画中継でご覧いただけます。

二次元コードを読み取ると、動画をご覧いただけます。



会派代表質問

- ◆ さきがけ 寿松木 孝 議員 … 各基金残高の急激な減少の原因は 9 ページ
- ◆ 新政会 小野 正伸 議員 … 市営温泉の方向性を明確にせよ!

一般質問

- ◆ 築山 智 議員 … 高齢者等への雪下ろしの負担軽減は 10ページ
- ◆ 加藤 司 議員 … 小中学校部活動の地域展開の方向性は? 11ページ
- ◆ 宮川 拓也 議員 … 市営温泉施設の条例改正は必要か 12ページ
- ◆ 井上 忠征 議員 … 未収金対策を生活困窮者の支援へ繋げて! 12ページ
- ◆ 立身万千子 議員 … 住民税非課税世帯に無料商品券の配布を 13ページ
- ◆ 大日向香輝 議員 … 老朽化した防災行政無線の管理強化を 13ページ
- ◆ 石川 拓也 議員 … ひとり親世帯に時間的支援を 14ページ
- ◆ 土谷 久男 議員 … 横手市の危機管理対応について伺う 14ページ
- ◆ 土田百合子 議員 … シン・十文字拠点エリア整備の財源確保は 14ページ
- ◆ 江上 善一 議員 … 市内公共施設の方向性について

問 各種基金残高が急激に減少しているが、その原因と今後の対策と見通しについて伺う。

答 基金残高が減少している主な要因は、近年の増大する人件費等への対応として基金の取崩しを行い、将来必要と思われる公共事業などに基金を活用してきた結果である。今後も様々な事業を実施する予定だが、健全な財政運営のなかで、必要投資を検討し実施していきたい。

問 財政計画では、2000億円以上あった基金残高が5年後には標準財政需要額の10%前後の38億円ほどまで激減となる予想であり、大変心配される状況とと思うがいかがか。

答 基金残高が多い要因は、有利な交付税算定の余剰分を積み立てたものだが、現在では通常の算定基準となり、これに充当していることも大きな要因だ。基金は需要額の10%あればいいとの考えではなく、これを下回らない

各基金残高の急激な減少の原因は

さきがけ 寿松木 孝 議員

すずき こう



ような財政運営を考えている。

問 本来は、歳入にあわせ歳出を予算化するべき。歳出が過大のため基金が取り崩されておられ、この状況が続くようでは、将来の財政が大変心配である。歳出の見直しが必要と思われるがどうか。

答 心配はもつともだと思いが、この状況を予想し、基金を積んでいた。今後の状況についても想定のとおりであり、必要な事業は実施していきたい。

- その他の質問
- 今後の歳入の見通しは
- 歳出の抑制策は



問 市営温泉施設の料金値上げは止むなしだが、市直営と指定管理者制度との明確な違いは。

答 指定管理者制度を導入する際は、直営時の費用を下回ることを前提としており、自由な発想によるサービスの提供や管理運営の効率化を図り、持続可能な運営を確保するためにも、最も住民利益に資する手法であると考えている。

問 現在、稼働しているゆとりおん大雄を廃止し、長期間営業を休止している鶴ヶ池荘を再開しようとする真意は何か。

答 市民アンケートを参考に、市全体の地域バランス等を考慮し、東部エリアは鶴ヶ池荘、西部エリアはさくら荘、南部エリアはゆつぷるの3施設に指定管理者制度を導入し、経営に関与していく方針としている。

ゆとりおん大雄について、廃止の方針に変更はないが、令和7年12月定例会での議会の強い意志を

市営温泉の方向性を明確にせよ！

新政会 小野 正伸 議員

おの しょうしん



尊重し、当面の間は営業を継続したい。

● 中学校部活動について

問 今後の地域展開における教育委員会としての考え方、方向性は。

答 「何年から一斉に全部活動をなくす」のではなく、競技ごとの状況を踏まえた上で、関係団体の皆様と協議を重ね、地域における活動が可能となった部活動から移行する方針を進めていく。

問 今後、新たな財政負担が生じると思われるが、その対応は。

答 ある程度の状況が見通せる時期において、地域クラブに移行しても市からの支援が受けられるよう制度を整えていく。



築山 智議員

ちやま ちよこ



高齢者等への 雪下ろしの負担軽減は



問 今冬も雪下ろしでの事故が後を絶たず、事故被害者の約7割が高齢者となっている。雪下ろし不要の屋根にするために、雪止めの撤去に補助を行い、高齢者等への負担軽減案として前に進めることはできないか。

答 市では住宅改修に係る費用の一部を助成しているが、雪止め金具は、落雪による人身被害等を防止するために設置されたものである。安全確保の観点から、雪止め撤去を補助対象とすることは現時点では困難である。

●スポーツ交流の活用について

問 若者の出会いの場としてスポーツ交流を取り入れてはどうか。

答 出会いのイベントであることを意識させない場をつくることは難しい。令和8年度は出会いイベント等は行わず、結婚支援センターへの補助を行う予定である。そのうえで、今一度、出会いの場

の創出について調査し、効果を検証したい。

●鳥獣被害対策について

問 クマの被害や出没件数も増加傾向にある。学校へのクマの侵入を想定し、避難訓練を早急に実施するべきではないか。

答 小中学校におけるクマ出没への対応に特化したマニュアルを作成した。緊急事態が発生した場合でも、迅速かつ適切に対応できるように、教職員間の連絡体制や役割分担等の対応策を整備している。



雪下ろし安全講習会の様子

加藤 司議員

かとう つかさ



小中学校部活動の 地域展開の方向性は？



問 部活動の地域展開の現状と展望について伺う。

答 当市の実情に合った準備を進めており、今年度は、「部活動地域展開推進協議会」を設置し、各種団体と協議しながら、推進計画や認定制度の策定等を進めている。現在、陸上競技、剣道、バレーボールなどが休日における地域での活動を試行している。令和13年度までに休日における地域展開の実現を目指す。準備が整わないうちに無理な進め方をするのは望ましくないと考えている。

●運営や指導者の人材確保は。

問 将来にわたり活動を持続可能なものとするため、スポーツ協会や各種競技団体、スポーツ少年団などと連携し、組織的な体制を目指す。また、教職員の兼職兼業の制度も整備していく。

答 認定地域クラブについて伺う。生徒が希望する活動に主体

的に参加できるよう、幅広い活動機会を保障する制度であり、部活動と同様に、市の支援を受けることができる。競技によっては中体の大会にも参加が可能となる。

●小中学校の統廃合計画について
問 少子化が進行する中で、学校の規模をどのようにしていくのか。

答 一律に同じような規模の学校の教育環境を整備するより、多様な子どもたちのニーズに応えられる、地域に根差した魅力ある学校づくりを目指す方向が必要だ。



バスケットボールクリニックの様子

宮川 拓也議員

みやかわ たくや



市営温泉施設の 条例改正は必要か



問 令和7年3月定例会で否決された温泉施設の条例改正案を、今回ほとんど同じ内容のまま再度提案したのはなぜか。

答 指定管理者制度を導入するメリットがあることから、前回から特段修正すべき点がないものと判断して再提案した。

問 指定管理者制度の導入にあり、まだ決まっていないことが多い中、すでに指定管理者として優先交渉事業者がいるのはなぜか。改めて募集しないのか。

答 現在の優先交渉事業者から、一度事業計画を提案いただいているので、それを無視して最初からやり直すことはできない。

問 指定管理者制度を導入することで温泉事業の費用を抑えられるとのことだが、何度聞いても明確な根拠が示されていない。

答 令和6年度に事業者から費用を抑えられるという事業提案を

受けており、資料で示している。しかし、状況が変化しているため、実際の運営費用は今後の状況を見ながら事業者と協議をしていく。

問 今回の条例改正案では入浴料の値上げをする提案もされている。周辺の温泉施設の料金に合わせるとの説明だが、近隣市町村の入浴料よりも高い設定になっているのはなぜか。

答 周辺の公共温泉施設だけでなく、民間の温泉施設も含めて料金設定の参考になっている。



指定管理者制度が検討されているさくら荘

井上 忠征議員

いのうえ ちゅうせい



未収金対策を 生活困窮者の支援へ繋げて!



問 各種未納については、本人の努力だけでは解決が難しい場合がある。全体像を把握しているか。

答 横手市債権管理推進委員会において、各課の未収額の集約と債権回収の支援を行っている。

問 部局横断的な債権回収の仕組みは、生活状況を立体的に把握することに繋がる。導入の考えは。

答 多くの債権の業務移管は人員の関係もあり課題がある。
問 未納世帯は生活が困窮している可能性が高い。支援に繋げる仕組みを導入する考えはあるか。

答 生活困窮状態にある対象者の生活状況把握は、部局連携を図り行っている。担当分野を超えて連携する重層的支援を進めていく。

●財政運営について

問 財政状況は安定しているか。

答 今後も安定して推移すると認識しているが、将来的なリスクとして少子化と働き手の減少によ

る経済活動の停滞・税収減が予想される。

問 歳入の増加策について伺う。

答 地域経済の発展を促し、税収増加に繋げる。また、ふるさと納税は効率的な運営と管理を実施し、体験型返礼品としてよこてシティハーブマラソン出走権や送り盆まつり炊飯席などを新たに登録した。

問 歳出削減に繋がる事業評価は。

答 総合計画上の事業を対象として行政評価に取り組み、事業の改善や拡充、縮小等に繋げている。



どこに相談してよいか分からない福祉のお悩みは「ふくしの窓口」へ

立身 万千子 議員

たつみ まちこ



住民税非課税世帯に 無料商品券の配布を



問 物価高騰対策として1月臨時会で議決した「プレミアム付商品券事業」は、1セット1万円分の商品券を5千円で販売する事業だが、低所得者対策として商品券を無料で配布できないか。

答 住民税非課税世帯には、一世帯あたり灯油助成給付金6100円を支給する「あつたか灯油助成事業」を実施しており、商品券事業の再考は予定していない。

● シン・十文字拠点エリア整備について

問 シン・十文字拠点エリアにおける「コンセプト」は何か。

答 子育て世代を中心に、多世代が集まる想いの場を核とした賑わい交流拠点としている。

問 コンセプトの具体的なイメージはどのようなものか。

答 「子育て世代を中心とした全ての市民にとって日常を快適に過ごすことができる生活拠点」として

外や県外からの来訪者を迎え入れる広域的な交流拠点」の2つの役割をイメージしている。

問 増田まんが美術館や内蔵の見学ルートも重要である。利用しやすい公共交通の確保が必要であり、シャトルバスなどを活用しては。

答 路線バスを補完するため市全域を対象としたデマンド交通の運行を広く周知していく。

■その他の質問

●昨今の職員による不祥事について



よこて市民応援商品券
(令和7年度配布)

大日向 香輝 議員

おおひなた こうき



老朽化した防災行政 無線の管理強化を



問 令和7年12月16日に雄物川地域で防災無線のスピーカーの落下があったが、現在使用している防災行政無線は直ちに点検体制を抜本的に強化すべきである。また、現在使用していない防災行政無線は即刻撤去すべきと考えるがどうか。

答 被害発生直後、速やかに点検及び危険性のある機器の撤去を行った。今後はパトロール及び点検を強化するとともに、計画的に撤去していく。

● クマ大量出没と通学の安全対策について

問 クマの出没情報と通学路が重複する箇所の実施しているか。また、危険度に応じた登下校方法変更の明確な基準はあるか。

答 頻繁にクマの出没が確認された地域において、「通学路危険箇所マップ」を作成しており、学校と情報共有をしている。その中で、徒歩通学からバス通学に変更

した事例があったほか、安全確保が困難と判断した学校においては、臨時休校措置を行った。また、「通学路設定にかかる事務取扱要領」では、児童・生徒の安全確保を最優先に、通学路の変更を含めた対応を考慮する旨を明文化している。今後とも正確な情報を把握したうえで、適切に判断し、児童・生徒の安全確保に努めていく。

■その他の質問

●SNS型詐欺への対策強化

●ふるさと納税について



老朽化により落下した防災無線の屋外スピーカー

石川 拓也議員

いしかわ たくや



ひとり親世帯に 時間的支援を

問 ひとり親世帯は、子育てと生計維持を一人で担うという構造的な負担を抱えており、経済的そして特に時間的制約が重くのしかかっている。ひとり親世帯に特化した家事・育児支援について伺う。

答 令和8年度から、新たに相談支援体制を構築し、伴奏型支援を行う生活支援事業と、ヘルパー等を派遣する養育支援事業の2つを開始する。

問 対面での相談以外にもLINE相談やマイナンバーカードなどを利用した自動一括申請登録のシステムを導入してはどうか。

答 マイナンバーの活用など、デジタル化の推進による手続きの簡素化、利便性の向上を図るとともに、引き続き窓口でのきめ細かな対面支援も大切にしていこう。

●雪対策について

問 高齢者等の雪下ろし助成制度の拡充や変更、新たな支援策は。

答 高齢者や障がい者等の要保護状態であり、かつ親族等からの援助を得ることができない低所得世帯を対象に、自宅の除排雪及び雪下ろしに要する費用の一部を助成している。また、令和3年度から近隣住民や共助組織に依頼した作業も対象となっており、事業の継続により安全確保を図っていく。

問 除排雪事業による若者の雇用創出の考えは。

答 県や他自治体の取組も参考にしながら雇用確保に努める。



時間にゆとりのある家庭の実現を

土谷 久男議員

ちちや ひさお



横手市の危機管理 対応について伺う

問 冬期間の倒木による停電時の連絡体制はどうなっているか。

答 本市では、東北電力ネットワーク(株)横手電力センターとの災害協定に基づき停電等が発生した際には、影響を受ける地域や戸数、停電の原因等の情報提供を受けている。これらの情報は、よこて安全・安心メールやホームページ、横手かまくらFM、SNS等で市民へ周知している。

問 情報弱者に対してはどのように周知するのか伺う。

答 情報を得ることが出来ない方については、町内会や共助組織などにおいて声をかけ、助け合っていたり、今後とも周知に努める。

問 災害時孤立する可能性がある集落の避難所へ、発電機と防災備蓄品の配備をお願いしたい。

答 孤立のおそれがある集落には食料品や飲料水、発電機などを配備している。ご相談いただければ

配備について検討する。

●带状疱疹ワクチン接種費用の助成について

問 带状疱疹ワクチンの約半額を市で助成しているが、50歳以上の接種率は。また65歳以上でないとも助成が受けられないと思っっている方も多い。周知方法を工夫しては。

答 令和6年度の50歳以上の接種率は全体の1・7%だが、令和7年度は1月末時点で6・7%である。今後も全戸配布チラシや医療機関等で周知していく。



全戸配布されている带状疱疹予防接種費用助成のチラシ
(横手市まめまめ情報 令和7年夏号より)

土田 百合子 議員

つちだ ゆりこ



シン・十文字拠点 エリア整備の財源確保は



問 十文字拠点エリア整備の進捗状況はどうなっているか。

答 十文字拠点エリアの整備に係る事業は、策定した基本構想を基に、令和8年度に策定する基本計画において、より具体的な施設内容や規模、配置、スケジュール、想定事業費などを検討していく。

問 大雨の際、拠点エリア内を通る市道が冠水しているが、道路や水路のインフラ整備の考えは。

答 現在、庁内の関係部署で構成する「十文字地域に係る雨水冠水対策会議」で現場確認を実施し、ハード・ソフトの両面からの対策を検討している。

問 道の駅十文字の駐車場についての検討結果を伺う。

答 基本構想には、避難所などの防災機能、駐車場などの交通機能が必要な機能として位置付けられている。本格的に整備されるまでは、空き公共施設用地を臨時の駐車場



シン・十文字拠点構想策定委員会の様子

として活用することを検討する。

●子育て支援について

問 本庁舎の子育て支援の相談窓口の環境整備の考えを伺う。

答 課題の解消に向け、現在導入を計画している「窓口DXSaaS」※データエクスペリエンス

に合わせ、1階フロアに新たな相談スペースを増設する方向で検討を進めている。

■その他の質問

- 子どもの権利条例制定について
- 市内道路「中央線」の白線対策は
- 「地域猫」活動への対応について

江上 善一 議員

えがみ よしかず



市内公共施設の方向性について



問 ゆとりおん大雄は令和7年12月定例会で廃止条例が否決され、一年間営業が継続することになった。老朽化が進む中、利用者の安全をどう確保し、この一年間をどう運営するのか伺う。

答 民間譲渡に係る引受先がなく、さらに施設の老朽化も進行していることから、施設を廃止するという基本的な方針に変わりはないものの、議会の意志を尊重し、当面は継続する。稼働状況を照らし合わせ今後の対応を判断したい。

問 廃止後の活用方法として、温泉を活用した温室ハウスで大雄産の野菜やフルーツの栽培を検討できないか。

答 温泉を活用した農業の事例は承知しており、庁内で検討したい。

問 増田体育館の雨漏りについての認識はどうか。令和8年度も多くの大会が予定されており、年間の予約がほぼ埋まっている。屋

内施設として早急な対策が必要だ。

答 雨漏りは4カ所程度と想定しているが位置の特定には至っていない。修繕・補修を行ったが、改善に至らない。屋上への新たな屋根増設は高額で約半年使用不可となるため、別の方法を検討している。

問 逆転の発想で、雨漏りの水を受け止め外へ排水するという即効策を検討してはどうか。

答 外部補修を繰り返したが結果的に防げなかった。専門家を交えて検討する。



雨漏りがある増田体育館

高校生議会だより モニター会議

1月26日、議会だよりモニターとして登録いただいている雄物川高校生徒会の皆さんと一緒に高校生議会だよりモニター会議を開催しました。

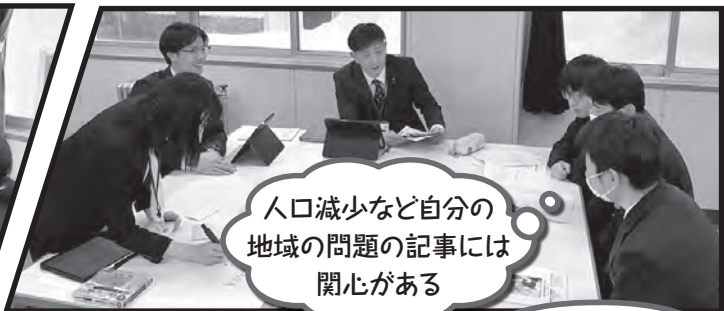
モニターの皆さんからは、特に若い世代が関心を持つようなアイデアをいただきました。



特集記事の字が
大きくて見やすい



活字だらけで読み
にくく感じる



人口減少など自分の
地域の問題の記事には
関心がある



議員の紹介
記事があった
ほうがよい



写真をもっと
増やしたほうがよい



要点をまとめた
ショート動画を
公開してはどうか



高校生議会だよりモニター会議の様子は、2月9日の「もっと教えて！横手市議会」で放送しました。放送内容は横手市議会ホームページからお聴きいただけます。

いろいろな話しお聞かせください！ 市民と議会の懇談会

1月20日、里見地区交流センターの皆さんと、「人口減少対策について」をテーマに、4つのグループに分かれて様々な視点から意見交換を行いました。

Uターンする人
に対して、子育て
支援がもっと
必要ではないか



出ていく人をどう
やって少なく
していくかが、
一番のテーマだ



県外へ農業の魅力
をアナウンス
する、就農者を
増やす施策が
欲しい



隣の町内など大
きな規模で、協
力し合うことが
大事だと思う



「市民と議会の懇談会」 随時申込受付中！

「市民と議会の懇談会」は、お住まいの地区の“こんなことや”、横手の未来の“あんなこと”について、団体・サークルなどと議員が、あらかじめ定めたテーマに沿った内容で意見交換するものです。

- 開催対象 概ね 10 人以上の参加が可能な横手市内の団体やグループ
- 開催時間・場所 ご相談の上決定します。開催時間は 1 時間～ 2 時間程度です。
- テーマ 1. 市政に関すること 2. 市議会に関すること
のいずれかに該当するテーマでお申込みください

●お問い合わせ先 横手市議会事務局 〒013-8601 横手市中央町8-2 TEL 0182-32-2535 FAX 0182-32-6539

お気軽にお問い合わせ
くださいね！



お申込みは
こちらから

青春 キャンパス色



こんにちは！私たち横手高校音楽部は令和8年3月現在、2年生2人、1年生2人で活動しています。合唱経験者はもちろん高校から始めた人、兼部している人も多く、学年関係なくみんな仲が良い明るい雰囲気での部活です。

今年度は、まず初めに3年生との最後のステージである秋田県合唱祭に参加しました。その後、夏の2つのコンクールに大曲高校との合同チームとして出場し、それぞれの学校の良さを合わせて私たちにしかできない合唱を作り上げました。あきた総文プレ大会では各高校の合唱部から成る合同合唱団でステージに立ち、普段少人数で活動しているからこそ、大人数の合唱のよさも改めて感じられるいい機会となりました。

大会が終わったあとは校内で12月にクリスマスコンサート、3月にスプリングコンサートを行いました。クリスマスコンサートは新たな試みでしたが、どちらも予想以上に多くの人に来てもらえて、とても嬉しく、やりがいを感じました。

これからも私たちらしく唯一無二の最高のハーモニーを響かせていきたいと思えます。

ぜひ応援よろしくお祈りします！！

横手高等学校音楽部 部長 津谷 明^{つち あき}・副部長 高橋 優里^{たかはし すぐり}



スプリングコンサートの様子

議会の 主な 動き

1月

- 6日 広報分科会
- 9日 正副委員長会議、議会運営委員会、全員協議会(議案説明会)、総務文教常任委員会協議会
- 14日 市議会1月臨時会【P3】
- 19日 県南地域議会議員研修会(仙北市)
- 20日 市民と議会の懇談会(里見地区交流センター)【P15】
- 23日 全員協議会(行政課題説明会)
- 26日 高校生議会だよりモニター会議【P15】
- 27日 正副委員長会議、議会運営委員会、全員協議会(議案説明会)
- 28日 産業建設常任委員会協議会、横手市議会議員研修会
- 30日 秋田県市議会議長会定例会(秋田市)

2月

- 2日 市議会2月臨時会【P3】、全員協議会(行政課題説明会)、厚生常任委員会協議会、総務文教常任委員会協議会
- 3日 山形県中山町議会行政視察受け入れ
- 6日 全国高速自動車道市議会協議会定期総会(東京都)
- 12日 正副委員長会議、議会運営委員会、全員協議会(議案説明会、行政課題説明会)
- 15日 厚木市議会・那珂市議会友好都市交流(～16日)
- 17日 秋田県後期高齢者医療広域連合議会定例会(秋田市)
- 18日 市議会3月定例会(～3月16日)【P2～14】
- 25日 広報分科会

3月

- 5日 総務文教常任委員会協議会、産業建設常任委員会協議会
- 11日 正副委員長会議、議会運営委員会、広報分科会
- 12日 全員協議会(行政課題説明会)
- 16日 議会改革推進会議
- 21日 能代市市制施行20周年記念式典(能代市)
- 26日 岩手県遠野市議会行政視察受け入れ、広報分科会

分かりにくい議会用語などはこちらで解説しています



分かりにくい議会用語が他にもございましたら、議会事務局までお知らせ願います。

横手市議会公式 Facebook ページ



タイムリーに情報発信中ページへのお待ちしています。

編集後記

広報分科会では、議会だよりモニターの皆さんからいただいたご意見などを参考に、よりよい紙面づくりに努めております。市議会の内容が分かりやすく伝わるように、様々な角度や視点で、お気づきの点などがございましたら、ぜひお声を寄せてくださいますようお願いいたします。(土谷 久男)

広報広聴委員会 広報分科会

- | | | | |
|------|-------|-------|-------|
| 分科会長 | 江上 善一 | 副分科会長 | 石岡恵美子 |
| 委員 | 土谷 久男 | 土田百合子 | 青山 豊 |
| | 築山 智 | 加藤 司 | |